

組合員各位

委告05-56-5

告示の通り、令和6年度昇給並びに令和6年度夏季一時金要求額について、第3回委員会において決定致しましたので、会社に要求書を提出し団体交渉に入ります。

#### 要求額決定の背景

167期通期業績は、販売計画2,248億3,100万円に対して、2,155億9,900万円で、遂行率95.9%、前年比100.5%と計画は未達で終わりましたが、売上総利益129億2,800万円（6.00%）、販管費127億1,800万円（5.90%）の結果、営業利益2億1,000万円となり、5期ぶりに営業黒字での着地となりました。これらの業績結果を踏まえ、現場の思いを支部委員に集約いただいた上で要求額に関しての協議を行いました。

昇給に関しては定期昇給とベースアップの違いについて改めて支部委員に確認し、昇給は「日々生活をしていくうえでの生活給」というスタンスであることや、昨年からの消費者物価指数の推移、各企業の賃上げ状況や上部団体方針、価格転嫁できる他業種との単純比較は難しいことなどを理解の上で、昇給に関わる各種数値を共有しました。

支部委員からは、新人事制度移行に伴い6月から調整給の減る組合員の生活を何としても守ってほしいとの声が多く、物価上昇以上の昇給がなければ組合員の生活が苦しくなる事、人材の確保や流出防止の観点からも、今年度の昇給は昨年以上に重要と感じているとの意見が上がりました。

それらを踏まえ、物価上昇に負けない生活の維持に必要な金額として、8,917円（基準内賃金3%）の要求金額が決定致しました。

一時金に関しては「企業業績からの成果給」という基本認識のうえで、167期通期業績数値の確認を行いました。支部委員からは、5期ぶりの営業黒字という業績の陰には、人員の減少に伴い一人ひとりへの業務負荷が高まるなか利益意識を持った交渉をしっかりと行い、毎日必死に業務を遂行したとの強い思いがあり、今回の一時金への期待の高さとともに、モチベーションを上げるために最大限の要求を求める声が多数を占めました。そういった現場の思いと、過去からの組合要求と妥結結果の推移を総合的に協議した結果、

組合員一人平均50万円の夏季一時金要求額が決定しました。

以上が要求額決定の背景です。

167期は非常に厳しい業界環境のなか利益意識を高く持ち、価格交渉や流通コスト等販管費を下げるための当番体制や1便化の推進など、支部ごとに取組みを進めて頂いた組合員の皆さまの努力が黒字化に繋がったと思います。ただし、委員会の中で支部委員に話をさせて頂きましたが、要求を勝ち取るためには、これから先組合員が一丸となってどういった行動で、どのように業績向上に寄与していくのか姿勢を示す必要があります。需給調整対応や頻回配送の是正、メタル品や非薬価品の販売強化など、全員がコスト削減と利益の確保に取り組むために足並みを揃えなければ、会社の発展と組合員の豊かな生活の実現は叶いません。組合として結果に結びつくための取組みを議論し、職場集会のなかで周知と推進をして参ります。

創業300周年を目前にした今、さらに、167期の頑張りを一過性のものにしてないためにも、組合員一人ひとりの未来に繋がる挑戦と、さらなる業務改善に取り組んでいく事が重要です。組合員一丸となって日々の努力を積み重ねていけば、厳しい環境にも打ち勝っていけると信じております。お互いを支え合いながら未来を切り拓いていけるよう、組合としても全力で支援をして参ります。これより団体交渉に入りますが、組合員の皆さまの現場での頑張り、またその声に応えるべく交渉に臨みますので、組合員の皆さまの更なるご支援をお願い致します。

令和6年5月29日

中北薬品労働組合

中央執行委員長 片野 信吾